土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調査名	その他河川 天地川 外 砂防激甚災害対策特別緊急事業に係る業務委託
事業・工事名	
調査目的及び調査対象	

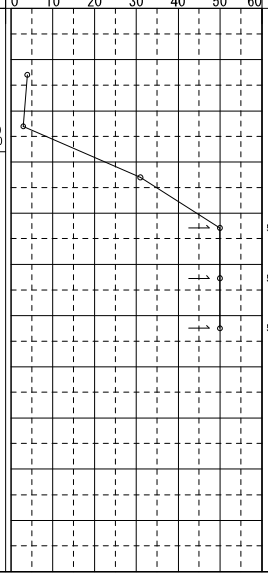
ボーリング名	Bor-4	調査位置	広島県安芸郡坂町小屋浦	北緯	34° 18' 28.7759"
発注機関	広島県西部建設事務所	調査期間	令和元年12月 9日～ 令和元年12月 9日	東経	132° 31' 03.9076"
調査業者名		主任技師		現場代理人	コア鑑定者 / ボーリング責任者
孔口標高	TP 96.98m	角度	180° 上 90° 下 0°	方向	北 0° 90° 東 180° 南 270° 西
総削孔長	6.00m	地盤勾配	水平 0° 鉛直 90°	使用機種	試錐機：東邦D-0 / エンジン：ヤンマーNFD13 / ポンプ：東邦BG-3B

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	現場土質名（模様）	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相対密度	相対稠度	記事
	96.88	0.10		有機質砂質土		濃暗褐			細粒の砂質土。
1				砂質土		淡褐	rd1		細～中粒の砂・砂質土。 深度0.90m付近まで草根が進入する。 所々、5mm以下の風化礫が混じる。
2	94.38	2.60				淡灰褐			
3				強風化花崗岩		淡褐灰			細～中粒のマサ状又はφ5mm以下の軟質な礫片状。 岩石組織は残すものの、鉱物の細粒化や粘土化が進む。
4	92.98	4.00		風化花崗岩		淡褐灰			軟岩相当の風化花崗岩。 中～粗粒のマサ状又は長さ5cm程度の軟質な岩片状。 全体に鉱物の細粒化が進む。 岩片は指先で押えるとマサ状に崩れ易い。 φ2～3mmの石英が多く残る。
5									
6	90.98	6.00							
7									
8									
9									
10									
11									

孔内水位／測定月日：12/9 2.80

標準貫入試験

深度―N値図



N値	深度 (m)	100mm毎の打撃回数 0～100	100～200	200～300	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量
4	1.15	2	1	1	4/300		
	1.45						
	2.15	1	1	1	3/300		
3	2.45						
	3.15	10	11	10	31/300		
31	3.45						
	4.15	16	20	14	50/280	280	
50以上	4.43			80			
	5.15	17	22	11	50/240	240	
50以上	5.39			40			
	6.15	22	28		50/190	190	
50以上	6.34			90			

試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験
1.15	P-1	⊖	
1.45			
2.15	P-2	⊖	
2.45			
3.15	P-3	⊖	
3.45			
4.15	P-4	⊖	
4.43			
5.15	P-5	⊖	
5.39			
6.15	P-6	⊖	
6.34			

削孔月日：12/9